

校 報	誕生寺NOW!	岡山県立誕生寺支援学校
		学校URL http://www.tanjoji.okayama-c.ed.jp/



**将来よりよく生活するために
～「伝える力」と「聞く力」を育む～**



岡山県立誕生寺支援学校長 有本 明彦

先般（10／26）、文部科学省は平成28年度の「問題行動・不登校調査結果（速報値）」を公表しました。中でも、全国の小中高校と特別支援学校が認知した「いじめ」は、前年度比43.8%（9万8676件）増の32万3808件で過去最多を更新し、3年連続の増加で、初めて30万件を超えています。

特に、小学校ではいじめの認知件数だけでなく、暴力行為や不登校の児童数も過去最多となり、いずれも低年齢化が進んでいます。専門家からは、感情を抑える力やコミュニケーション能力が低下し、児童同士のトラブルが急増していると指摘する声も上がっています。

人は、決して一人では生きていけません。人との関わりや触れ合いの中で、生活（余暇活動も含む）し、仕事をしていくわけですから、「感情を抑える力」や「コミュニケーション能力」は、生きていくうえで、最も必要な力と考えます。

本校でも、この2つの力の育成には、日々の教育活動の中で、特に力点をおいて研究するとともに実践を積み重ねています。

具体的には、個々の児童生徒の実態に応じて、工夫しながら「伝える力」や「聞く力」を育てています。自分が困ったときや人に何かをしてほしいときには、自分の思いや意見を相手にきちんと伝えること。次に何をしなければならないか分からないときや迷っているときには、しっかり相手の話を聞くことが大切になってきます。

自分の思いや意見をうまく言葉やしぐさで伝えることができない子どもたちや相手の話をうまく理解できない子どもたちもいます。教職員は日々、児童生徒一人一人の実態を踏まえながら、地道な取り組みを実践しています。教室を巡回すると、教職員が一人一人の児童生徒にしっかりと正面から向き合い、子どもたちの何気ない言葉や小さな表情やしぐさなどの変化を、見つめ見逃さず「伝える力」や「聞く力」を育てている様子がわかります。すぐに身に付く力ではありませんが、児童生徒の一步一步の小さな成長を大切にしながら、日々教育実践に努めています。

大人社会でもコミュニケーションが希薄化していると言われている現代社会の中で、これからの不透明な社会の中で生きていく子どもたちには、日々の生活のしやすさを目指して、様々な方法での「伝える力」と「聞く力」を身に付けさせたいと強く思っています。

今月の進路情報について

福祉事業所でのイベントについて

11月末から12月にかけて、本校では「みんなの作品展」や「久米南絆まつり」があるように、福祉事業所でも様々なイベントが開催されます。

日頃の活動の中で作った絵画などの作品を展示するところや、利用者が作った作品等を販売するところなどがあります。すでに11月上旬で終わったところもありますが、多くの施設は毎年行っていますので、今後も気にとめておき見に行かれると、今後の進路選択の参考になるかと思います。

また、各地域の自立支援協議会などが主催のフォーラムや研修会も秋から冬にかけて行われることがあります。お忙しいときはと思いますが、参加してみるのもよいかと思います。パンフレット等を配布することもあります。校内掲示だけのものもありますので来校時にご覧ください。

B部門中学部

「ことば」の学習をがんばっています！

今回の校報では、校長が「伝える力」と「聞く力」を育む大切さをお伝えしていますが、B部門中学部の「ことば」の時間でも、その力を育てています。買い物場面を想定した学習のなかで、教師だけでなく、友達に自分の気持ちを伝える力、友達の話聞く力が少しずつ伸びてきています！



12月の主な行事

- 1日 A高作品展（2日目）
- 2日 久米南絆まつりスペシャルウィーク
A高参観日
- 4日 振替休業日
- 5日 部活動
- 7日 A高進路懇談（～13日）
- 8日 A高生産3年校外学習
- 13日 訪問コンサート（誕生寺校地）
- 15日 S B短縮
- 19日 部活動
- 22日 2学期修了式・S B短縮



